

安全性委員会資料館見学

2019年7月25日(木)、安全性委員会メンバーで、
(株)廣貫堂の資料館を見学した。
その後会議室をお借りして、第104回 安全性委員会定例会を開催した。

廣貫堂は、旧富山藩の「反魂丹役所」を引き継いで明治9年に創設され、
創業より140年、変わらぬ「救療の志」を掲げている。
富山藩主前田正甫公は、濟生救民の志が強く、
「先用後利(病を治すことが先で、利は後でよい)」という独自のスタイルで
好評を呼び、これが後の配置薬に発展した。

「寒村僻地にまで広く救療の志を貫通せよ」という
正甫公の訓示から社名が決まったとのお話があった。

廣貫堂資料館は、本社(富山県富山市)の敷地内にあり、
資料館には、300年の富山置き薬の伝統を伝える古文書や
売薬さんの知恵のつまった道具など
多くの貴重な資料が展示されていた。
実際の「反魂丹」を味わいながら、
越中売薬の歴史とその魅力を学ぶことができた。



【廣貫堂資料館】

